

内閣府「H26年度SIP衛星測位(を自動走行へ)調査業務」完了速報

内閣府の推進する「戦略的イノベーション創造プログラム」(SIP)の課題の一つである「自動走行システム」にて、実施された「マルチGNSS調査」を受託し、内閣府SIPへの結果報告が完了しました。本業務は評価内容が多岐にわたり専門の知識を必要とすることから、「衛星測位活用検討コンソーシアム」(代表:アイサンテクノロジー)を設置、自動車業界との意見交換を行いながら実施いたしました。

報告書には、走行環境、衛星システムの組み合わせ、測位方式、準天頂衛星の補強信号等7,000通り以上のデータ分析による自動走行におけるマルチGNSSの可用性評価を取りまとめました。また、マルチGNSSを利用したマルチパス対応手法、地上環境による測位影響の評価等も行っており、今後の調査、研究開発にも非常に意義のある報告となっております。当該報告書及び今回取得したデータをより多くの研究者や企業が利用できるよう、研究発表等の機会には本コンソーシアムメンバーを中心に積極的な報告を行ってまいります。

尚、5月20日~22日にパシフィコ横浜にて開催されます日本最大の自動車技術展、公益社団法人自動車技術会2015年春季大会学術講演会(95セッション437講演、「人とくるまのテクノロジー展2015」等同時開催)において、弊社は「自動走行システムの実現に向けた衛星測位の評価」と題し講演をいたします。是非、ご来場ください。

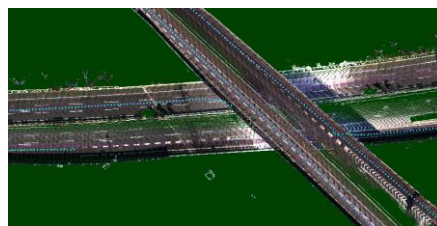
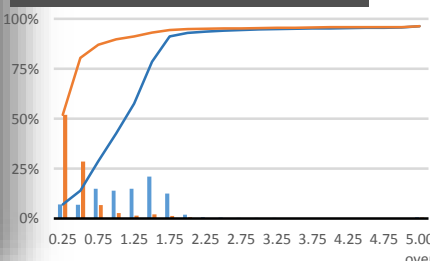
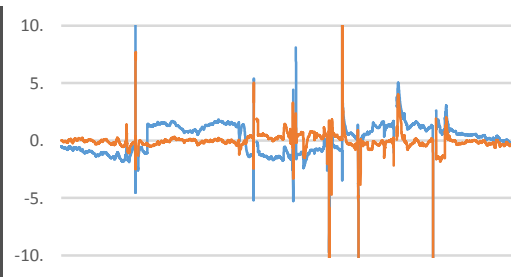
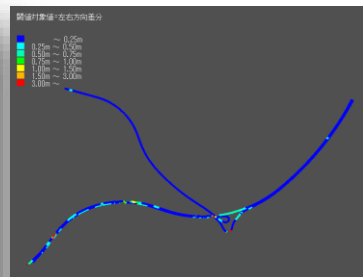
※弊社講演日程 会場:3F 311+312 日時: 5月21日 9:30-12:10 セッション: 43-Cars that Think and Communicate II 自動運転を目指してーシステム・制御・HMIー



MMSによる計測 (筑波宇宙センター)



搭載された計測機器



移動体評価用のアプリケーションと図表例

「衛星測位活用検討コンソーシアム」メンバー: 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA), 一般財団法人 衛星測位利用推進センター(SPAC), 国立大学法人 東京海洋大学, アイサンテクノロジー株式会社 / 協力機関: 国立研究開発法人 電子航法研究所(ENRI)

【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。掲載内容により被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。